

恵庭市協働評価調書

1日目

(平成20年8月19日)

事業番号1～8

平成20年度 協働評価調書

1. 事業内容

事業番号 1

事務事業名		千歳・苫小牧地方拠点地域整備推進事業		担当	企画財政部企画調整課(内線2342)	
総合計画	基本目標	6	市民と行政が情報と活動を共有するまちづくり	予算科目	款: 2	総務費
	目標	62	近隣市町村との広域的連携事業を推進します		項: 1	総務管理費
	主要施策				目: 10	企画費
個別計画名			事業: 101		一般事務費(企画調整課)	
事業計画年度	平成5年度～ 年度		補助事業名			
どんなことが問題になっていますか？ (現況と課題)	新千歳空港周辺地域は、国の上位計画の中で、北の国際交流圏を形成し、その集積効果をもって北海道全体の発展力を高め、国土の均衡ある発展に資すべき地域として位置付けられています。道の計画においても、新千歳空港を核とした交流機能や物流、産業支援機能の強化を進め、北海道全体の発展力を高めていく役割を担おうとしています。					
なんのために行なっていますか？ (事業目的)	「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律」に基づき、千歳・苫小牧地方拠点都市地域整備の促進を図る。 千歳・苫小牧を中心とした3市3町で、地域全体の振興・活性化と北海道全体の発展を牽引する地方拠点都市地域の形成を図る。 地方定住の核となるような地方拠点都市地域の一体的な整備を促進する為、適正且つ合理的な土地利用と関係市町における役割・機能の適切な分担・連携を図る。					
何を、どのように行ないますか？ (事業概要、手段、方法など)	千歳・苫小牧地方拠点地域整備推進協議会負担金。 協議会の活動をとおり、関連市町と連携をとりながら、千歳・苫小牧地方拠点地域基本計画の推進を図る。					

2. 事業費・成果

(単位:千円)

区 分		18年度決算額	19年度決算額	20年度予算額	成果(定量的数値など)
総事業費(B)+(C)		0.0	120.0	100.0	
事業費 (財源内訳)	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源(A)	120.0	120.0	100.0	
計(B)			120.0	100.0	
人件費 (事業費以外)	事務量(職員 臨時)	人工 日	人工 日	人工 日	
	職員分	0.0	0.0	0.0	
	超勤分				
	臨時職員分	0.0	0.0	0.0	
	計(C)	0.0	0.0	0.0	
事業費積算内訳	補足説明	(事業費予算額 120千円)			
	千歳・苫小牧地方拠点地域整備推進協議会負担金				
事業実績	目標値				
	実績				

3. 今後の推進方針

事業の見直しについて	【理由】
<input checked="" type="checkbox"/> 必要	協議会の基本的な存在意義は変わらないが、協議会の運営内容について、関係市町村と調整しながら、検討すべきと思われる。
<input type="checkbox"/> 不必要	

平成20年度 協働評価調書

1. 事業内容

事業番号 2

事務事業名		循環型社会形成の取り組み		担当	生活環境部廃棄物対策課(内線1130)	
総合計画	基本目標	1	水と緑と花に彩られた魅力あるまちづくり	予算科目	款	4 衛生費
	目標	6	自然と共生する環境保全活動に取り組みます		項	2 清掃費
	主要施策				目	1 塵芥処理費
個別計画名				事業	5	リサイクル関係費
事業計画年度		①H6 ②H16 年度～ 年度	補助事業名			
どんなことが問題になっていますか？ (現況と課題)		廃棄物の減量化とリサイクル意識の高揚				
なんのために行なっていますか？ (事業目的)		廃棄物の減量化とリサイクル意識の高揚				
何を、どのように行ないますか？ (事業概要、手段、方法など)		①資源回収奨励金交付事業～町内会等の行う資源物の回収に対し1kg当たり2円を助成 ②ごみ排出抑制促進事業～生ごみ堆肥化容器の購入助成				

2. 事業費・成果

(単位:千円)

区 分		18年度決算額	19年度決算額	20年度予算額	成果(定量的数値など)
総事業費(B)+(C)		6302.7	6578.7	6307.7	
事業費 (財源内訳)	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源(A)	5,020.0	5,296.0	5,025.0	
計(B)		5,020.0	5,296.0	5,025.0	
人件費 (事業費以外)	事務量(職員 臨時)	0.1 人 30.0 日	0.1 人 30.0 日	0.1 人 30.0 日	
	職員分	1,087.7	1,087.7	1,087.7	
	超勤分				
	臨時職員分	195.0	195.0	195.0	
計(C)		1,282.7	1,282.7	1,282.7	
事業費積算内訳	補足説明	(事業費予算額) ① 2.155t ② コンポスター 30件 ダンボール箱堆肥 43件 電動生ごみ処理機 30件	(事業費予算額) ① 2.291t ② コンポスター 26件 ダンボール箱堆肥 54件 電動生ごみ処理機 30件 密閉式容器 4件	① ② コンポスター 38件 ダンボール箱堆肥 電動生ごみ処理機 25件 密閉式容器 22件	
	事業実績	目標値 実績	①2.155t助成 ②103件助成 同上	①2.291t助成 ②114件助成 同上	

3. 今後の推進方針

事業の見直しについて	【理由】
<input type="checkbox"/> 必要	①資源回収量を増加させ、収集運搬料金の削減を図る
<input checked="" type="checkbox"/> 不必要	②生ごみの発生量の削減を図る

3 2に外市 要改善

平成20年度 協働評価調書

1. 事業内容

事業番号 3

事務事業名		道路維持管理業務等		担当	建設部 管理 課(内線2410)	
総合計画	基本目標	4	生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり	予算科目	款	8; 土木費
	目標	32	冬も移動がしやすい環境づくりを進めます		項	2; 道路橋梁費
	主要施策	1	除排雪体制の充実		目	1; 道路橋梁維持費
個別計画名	道路維持管理業務等		事業		1; 道路橋梁維持補修事業費	
事業計画年度	年度～ 年度	補助事業名				
どんなことが問題になっていますか？ (現況と課題)	1 排雪の要望(年1回の排雪を複数回の要望)・生活道路の排雪要望が多い。 2 生活道路の間口除雪(幹線道路については行っている) ③ 民間間口排雪とのトラブル					
なんのために行なっていますか？ (事業目的)	1 通勤、通学等日常生活のための道路網の確保 2 幹線道路の円滑な交通の確保 3 交通事故防止のための幹線道路におけるツルツル路面对策					
何を、どのように行ないますか？ (事業概要、手段、方法など)	民間及び市所有機械の能力に応じた委託及び直営による除排雪 4076123					

2. 事業費・成果

(単位:千円)

区分		18年度決算額	19年度決算額	20年度予算額	成果(定量的数値など)
総事業費(B)+(C)		291987.8	341018.8	330726.8	
(財源内訳)	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源(A)	237,332.0	285,600.0	275,550.0	
計(B)	237,332.0	285,600.0	275,550.0		
(事業費以外)	事務量(職員 臨時)	3.7 人 2,560.0 日	3.7 人 2,560.0 日	3.7 人 2,560.0 日	
	職員分	33,536.8	33,536.8	33,536.8	
	超勤分	4,479.0	5,242.0	5,000.0	
	臨時職員分	16,640.0	16,640.0	16,640.0	
計(C)	54,655.8	55,418.8	55,176.8		
事業費積算内訳	補足説明	(事業費予算額)	(事業費予算額)	(事業費予算額)	
		車道等除雪委託費 177,607	車道等除雪委託費 199,974	車道等除雪委託費 192,659	
		歩道等除雪委託 10,994	歩道等除雪委託 10,872	歩道等除雪委託 11,131	
		雪堆積場管理委託 4,787	雪堆積場管理委託 4,573	雪堆積場管理委託 4,900	
		気象情報提供委託 2,751	気象情報提供委託 2,751	気象情報提供委託 2,646	
		雪捨場清掃委託 274	雪捨場清掃委託 259	雪捨場清掃委託 288	
		使用料雪捨場整地ブル 15,605	使用料雪捨場整地ブル 25,794	使用料雪捨場整地ブル	
		使用料雪割り 10,437	使用料雪割り 5,077	使用料雪割り 25,886	
		使用料運搬排雪 12,093	使用料運搬排雪 26,762	使用料運搬排雪 22,914	
		使用料排雪(ローラー) 2,784	使用料排雪(ローラー) 9,538	使用料排雪(ローラー) 15,126	
		計 237,332	計 285,600	計 275,550	
事業実績	目標値				
	実績				

3. 今後の推進方針

事業の見直しについて	【理由】
<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要	5人いる。1人だけ、3人になり 夜は排雪場だけ排雪 (排雪機)

⑥ 117=c.

平成20年度 協働評価調書

事業番号 4

1. 事業内容

事務事業名		有害鳥獣対策事業		担当	経済部 農政課(内線 3313)	
総合計画	基本目標	5	地域資源を生かした活気あるまちづくり	予算科目	款: 6	農林水産業費
	目標	50	農業生産基盤の整備と多様な担い手を育成します		項: 1	農林費
	主要施策	03	農業経営の強化		目: 2	農業総務費
個別計画名	第2期恵庭市農業振興計画				事業: 1-2	有害鳥獣対策費
事業計画年度		62年度～	年度	補助事業名		
どんなことが問題になっていますか? (現況と課題)		地球温暖化や生態系破壊の問題等から鳥獣ごとの農作物被害が年々増加傾向にあり、農家個体だけではなく、地域的更には全市的な問題として被害防止に努め、行政、農家、関係機関等の連携を強化する。				
なんのために行なっていますか? (事業目的)		有害鳥獣による農畜産物の被害防止のため、有害鳥獣の駆除を行い農畜産物全般の安定生産と農業経営の安定化を図る。				
何を、どのように行ないますか? (事業概要、手段、方法など)		恵庭猟友親睦会(会長 岩崎 清行)に対し有害鳥獣駆除を業務委託。 カラス・キツネ・アライグマ・エゾシカによる農作物被害防止のため、農業者からの駆除依頼の連絡を受け、恵庭猟友親睦会に対し出動要請を行っている。				

(単位:千円)

2. 事業費・成果

区分		18年度決算額	19年度決算額	20年度予算額	成果(定量的数値など)
総事業費(B)+(C)		2061.7	1669.1	1838.1	
事業費 (財源内訳)	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源(A)	974.0	944.0	1,113.0	
計(B)	974.0	944.0	1,113.0		
人件費 (事業費以外)	事務量(職員 臨時)	0.12 人 日	0.08 人 日	0.08 人 日	
	職員分	1,087.7	725.1	725.1	
	超勤分				
	臨時職員分	0.0	0.0	0.0	
	計(C)	1,087.7	725.1	725.1	カラス 2,598羽 キツネ 20頭 エゾシカ 8頭 アライグマ 14頭
事業費積算内訳	補足説明	(事業費予算額)	(事業費予算額)	(事業費予算額)	
		有害鳥獣対策費 747千円	有害鳥獣対策費 1,011千円	有害鳥獣対策費 1,113千円	
		報償費 676千円	報償費 136千円	報償費 136千円	
		旅費 10千円	旅費 10千円	旅費 5千円	
		需用費 10千円	需用費 10千円	需用費 10千円	
		使用料 1千円	委託料 854千円	委託料 854千円	
		負担金 50千円	使用料 1千円	使用料 1千円 補助金 107千円	
事業実績	目標値				
	実績				

3. 今後の推進方針

事業の見直しについて	【理由】
<input checked="" type="checkbox"/> 必要	ごみ焼却場の廃止に伴い、最終処分場周辺農家のカラス被害は増加の一途をたどっているが、生ごみの埋め立てが大きな要因になっていると考える。このような中、特に最終処分場周辺の対応は有害鳥獣対策の範囲を超える現状にあるため、廃棄物処理及び環境対策の面から根本的な対応が必要と考える。
<input type="checkbox"/> 不必要	

平成20年度 協働評価調書

1. 事業内容

事業番号 5

事務事業名		パートナーシップ排雪制度		担当	建設部 管理課(内線 2412)	
総合計画	基本目標	4	生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり	予算科目	款:	8 土木費
	目標	32	冬も移動がしやすい環境づくりを進めます		項:	2 道路橋梁費
	主要施策	2	除排雪体制の充実		目:	1 道路橋梁維持費
個別計画名		道路維持管理業務等		事業:	1 道路橋梁維持補修事業費	
事業計画年度		年度～ 年度	補助事業名			
どんなことが問題になっていますか？ (現況と課題)		排雪区間は一路線又は交差点を単位と定めているため、一路線又は交差点関係者の合意が大変むずかしい。				
なんのために行なっていますか？ (事業目的)		冬季においても安全で移動しやすく快適な生活環境の確保。				
何を、どのように行ないますか？ (事業概要、手段、方法など)		パートナーシップ排雪制度は地域住民・恵庭市・排雪業者がそれぞれ役割を分担し、お互いが協力しながら生活道路の運搬排雪を行う制度で、道路上の左右に積もった雪の一部を切り取り、道路幅を広くする制度で、費用の半分について市が負担する事業です。				

2. 事業費・成果

(単位:千円)

区 分		18年度決算額	19年度決算額	20年度予算額	成果(定量的数値など)
総事業費(B)+(C)		0.0	0.0	1438.9	
事業費 (財源内訳)	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源(A)	0.0	0.0	500.0	
計(B)		0.0	0.0	500.0	
人件費 (事業費以外)	事務量(職員 臨時)	0.0 日	0.0 日	0.1 入工 5.0 日	
	職員分	0.0	0.0	906.4	
	超勤分				
	臨時職員分	0.0	0.0	32.5	
計(C)		0.0	0.0	938.9	
事業費積算内訳	補足説明	(事業費予算額)	(事業費予算額)	・延長2.411m 500千円	
事業実績	目標値				
	実績				

3. 今後の推進方針

事業の見直しについて	【理由】	此 55 円 2294 自治会への委託費の削減。9014円。 千円 → 0.
<input type="checkbox"/> 必要		
<input type="checkbox"/> 不必要		

平成20年度 協働評価調書

1. 事業内容

事業番号 6

事務事業名		市民農業講座		担当	経済部 農政課(内線 3313)	
総合計画	基本目標	5	地域資源を生かした活気あるまちづくり	予算科目	款	6 農林水産業費
	目標	51	都市と農村の交流により地域農業の活性化を推進します		項	1 農林費
	主要施策	01	都市・農村交流の推進		目	3 農業振興費
個別計画名	第2期恵庭市農業振興計画				事業	5 農業振興対策事業費
事業計画年度	19年度～ 年度		補助事業名			
どんなことが問題になっていますか？ (現況と課題)	家庭菜園、市民農園、定年後の農業への参加など、市民の農への関心は高まる一方で、市民農園の運営指導や農作業などに従事する人材の育成も求められており、野菜を中心とした土壌・肥料・栽培・病害虫防除などの講座を開設し、市民に対する農業への理解促進、体系化した学習活動の場の提供、栽培技術等指導者の育成を目指すため、平成19年度に事業を開始したが、目的に沿った講座とすべく内容を模索しながら実施している段階で、各年度事業の実施結果を踏まえ内容充実に向け検討・協議する必要がある。また、栽培技術等指導者の育成に向けては、新規事業としての実施も視野に入れながら、今後概要を明らかにすることが必要である。					
なんのために行なっていますか？ (事業目的)	市民農園や家庭菜園で野菜を作っている市民の技術のレベルアップを目指す					
何を、どのように行ないますか？ (事業概要、手段、方法など)	恵庭市民農園協会(会長 木佐 和美)委託事業 第1回目～4月8日…施肥、軟作り等の講習会 第2回目～4月29日…種まき、植え付け(馬鈴薯、玉ねぎ等) 第3回目～5月13日…夏野菜種まき(とうもろこし、インゲン等) 第4回目～6月3日…夏野菜植え付け(トマト、ピーマン等) 第5回目～7月1日…病害虫対策 第6回目～8月5日…秋野菜種まき、苗植え付け(大根、はくさい等) 第7回目～9月9日…収穫祭、種とり、収穫後の土壌管理等					

2. 事業費・成果

(単位:千円)

区分		18年度決算額		19年度決算額		20年度予算額		成果(定量的数値など)
総事業費(B)+(C)		0.0		436.6		436.6		19年度は7回の講座開催を通じ、延350名程度の参加があった。今後は講座開催回数だけを目値とするのではなく、ニーズに沿った内容で、より多くの市民参加を得られるよう検討・協議する。
事業費 (財源内訳)	国支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源(A)			74.0		74.0		
	計(B)	0.0		74.0		74.0		
人件費 (事業費以外)	事務量(職員 臨時)	人工	日	0.04	人工	日	0.04	
	職員分	0.0		362.6		362.6		
	超勤分							
	臨時職員分	0.0		0.0		0.0		
	計(C)	0.0		362.6		362.6		
事業費積算内訳	補足説明	(事業費予算額)		(事業費予算額)		同左		
				業務委託料 74千円 内訳 土地使用料 10千円 講師謝礼 40千円 管理費・資材費 20千円 消費税 4千円				
事業実績	目標値			講座開催 6回				
	実績			講座開催 7回				

3. 今後の推進方針

事業の見直しについて	【理由】
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要	事業目的に沿った講座とすべく内容を模索しながら実施している段階で、事実施結果を踏まえ内容充実に向けた見直しなどが必要がある。

平成20年度 協働評価調書

1. 事業内容

事業番号 7

事務事業名		恵庭市融雪施設設置費助成事業		担当	建設部 管理課(内線 2412)	
総合計画	基本目標	4	生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり	予算科目	款	8 土木費
	目標	32	冬も移動がしやすい環境づくりを進めます		項	2 道路橋梁費
	主要施策	2	除排雪体制の充実		目	1 道路橋梁維持費
個別計画名	道路維持管理業務等		事業		3 融雪施設設置助成事業費	
事業計画年度	年度～	年度	補助事業名			
どんなことが問題になっていますか？ (現況と課題)	融雪施設を機能させる燃料の高騰、民間排雪の充実化。					
なんのために行なっていますか？ (事業目的)	冬期間における快適な生活環境の確保を支援すること。					
何を、どのように行ないますか？ (事業概要、手段、方法など)	ロードヒーティング、融雪槽及び融雪機(固定式のものに限る)を設置しようとする市民(高齢世帯等は対象費の3分の2「限度額25万円」を助成)					

2. 事業費・成果

(単位:千円)

区 分		18年度決算額	19年度決算額	20年度予算額	成果(定量的数値など)
総事業費(B)+(C)		13269.2	7569.2	6469.2	
事業費 (財源内訳)	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源(A)	10,550.0	4,850.0	3,750.0	
計(B)	10,550.0	4,850.0	3,750.0		
人件費 (事業費以外)	事務量(職員 臨時)	0.3 人 日	0.3 人 日	0.3 人 日	
	職員分	2,719.2	2,719.2	2,719.2	
	超勤分				
	臨時職員分	0.0	0.0	0.0	
計(C)	2,719.2	2,719.2	2,719.2		
事業費積算内訳	補足説明	(事業費予算額) ・一般 23件 2,300千円 ・高齢 33件 8,250千円 計 56件 10,550千円	(事業費予算額) ・一般 11件 1,100千円 ・高齢 15件 3,750千円 計 26件 4,850千円	・高齢 15件 3,750千円	
	事業実績	目標値			
	実績				

3. 今後の推進方針

事業の見直しについて	【理由】
<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要	近年は応募件数が減少しているため、事業を縮小し継続する。

平成20年度 協働評価調書

1. 事業内容

事業番号 8

事務事業名		こどもふれあい農園推進事業		担当	経済部農政課(内線3311)		
総合計画	基本目標	5	地域資源を生かした活気あるまちづくり	予算科目	款	6 農林水産業費	
	目標	51	都市と農村の交流により地域農業の活性化を推進します		項	1 農林費	
	主要施策	1	都市・農村交流の推進		目	3 農業振興費	
個別計画名		第2期恵庭市農業振興計画				事業	6 こどもふれあい農園推進事業費
事業計画年度		10年度 ~ 年度	補助事業名				
どんなことが問題になっていますか？ (現況と課題)		参加者の固定化や多様なニーズに応じた事業メニューの再考が課題であるとともに、将来的には現行の行政主導型から農家の自主的運営を視野に入れ事業展開を図る。					
なんのために行なっていますか？ (事業目的)		将来を担う子どもたちを農業に触れさせ、食の大切さを学び農業への理解を深める交流を行うとともに、親子のふれあいの場を提供する。					
何を、どのように行ないますか？ (事業概要、手段、方法など)		(年5回開催) 5月～開園式、田植え、ミニトマト植え付け講習会 6月～酪農体験 8月～じゃがいも収穫体験、とうもろこし収穫体験 9月～稲刈り、はさがけ作業体験 10月～稲の脱穀、籾摺り作業体験、閉園式 *H19～プラス・ワン事業として親子料理教室を開催し次年度以降も実施予定					

2. 事業費・成果

(単位:千円)

区 分		18年度決算額	19年度決算額	20年度予算額	成果(定量的数値など)
総事業費(B)+(C)		1111.3	1305.6	1309.6	事業目的の親子のふれあい、更には農業者とのふれあいの場としてある程度事業の成果は得られている。また、食育を視野に入れたながら「新たな親子交流体験事業」として、親子料理教室を開催、単に講習会にならぬよう実施内容に関し充分留意し企画・実施した。
事業費 (財源内訳)	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源 (A)	214.0	227.0	231.0	
計 (B)		214.0	227.0	231.0	
人件費 (事業費以外)	事務量 (職員 臨時)	0.10 人日	0.12 人日	0.12 人日	
	職員分	897.3	1,078.6	1,078.6	
	超勤分				
	臨時職員分	0.0	0.0	0.0	
計 (C)		897.3	1,078.6	1,078.6	
事業費積算内訳	補足説明	(事業費予算額)	(事業費予算額)	(事業費予算額)	
		消耗品費 16	消耗品費 16	消耗品費 10	
		印刷製本費 4	印刷製本費 4	委託料 216	
		賄材料費 15	賄材料費 15	使用料及び賃借料 5	
		委託料 177	委託料 177		
		使用料及び賃借料 7	使用料及び賃借料 7		
事業実績	目標値	先着 50名	先着 50名	先着 50名	
	実績	参加者数 28名	参加者数 56名	参加者数 52名	

3. 今後の推進方針

事業の見直しについて	【理由】
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要	事業開始から10年を経過し事業内容の再考を検討する時期でもあり、現在の事業を継続しつつ新たな事業展開等を図る必要がある。